

平成27年度学校経営計画表

学校番号		学校名	水城高等学校		課程	全日制	学校長名	山野 隆夫		副校長名	稲葉 節生	
教頭名	田村 浩行		鈴木 力		安達 忠夫	事務局長名	小田部 幹夫		事務局長補佐名	皆藤 和彦 事務長名 鈴木 利久		
教職員数	教諭66	養護 1 教諭	常勤 17 講師	非常勤 講師29	実習教諭0 実習講師0 実習助手0			事務職員 9	技術職員1	計 131		
生徒数	小学科	1年		2年		3年		合計		合計クラス		
		男	女	男	女	男	女	男	女	1868		
	普通科	369	293	288	228	355	335	1012	856			

2 目指す学校像

○ 3点確保の理念に基づき道德観の向上、部活動の活性化、学力の向上を目指す。
○ 厳しい社会状況の中で通用できる人材を育成する。
○ 健全な道德観を有し、友愛の情を育み他人と協調し社会に貢献できる人材を育成する。

3 現状分析と課題(数量的な分析を含む)

項 目	現 状 分 析	課 題
学習・進路指導	朝学習や授業、ゼミや講習会など様々な学習指導の積み重ねや、きめ細かな受験指導の効果があらわれ、国公立大学・大専に180名合格者を出している。また、私立大学では1039名の合格者を出した。	きめ細かな進路指導をとおして、今年度も国公立大学、私立大学とも前年を越える合格者数を目指す。
生徒指導	頭髪・服装指導や交通安全指導の徹底により、全体的には落ち着いた生活を送っている。	歩行時や自転車走行時の交通ルールの遵守の徹底を図る。携帯電話利用時の注意点を学ばせる。
特別活動	部活動の加入率が年々増加し活性化しつつある。全国大会レベルを維持する運動部に加え、関東大会出場を果たす部もふえつつある。また、文化部も校外での大会やコンテストに参加するほか、校内での発表の機会も増えつつある。生徒会活動も活発化している。	学業と部活動の両立を目指す生徒を育成する。生徒会や委員会活動など生徒の自主的活動を活発にする。

4 中期的目標

1 本校を、学習意欲が高く活気にあふれた生徒の集団とする。
2 進学実績を向上させ、確固たる進学校を目指す。
3 落ち着いた環境の下で有意義な学校生活を送ることができるよう、生徒指導を徹底する。
4 部活動や各種コンクール等に積極的に参加させ、その参加率を高める。
5 学業と部活動をとおして心と身体のバランスのとれた人材を育成する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
授業の質の向上を目指す。	授業アンケートの結果を指導に生かし、授業の改善・工夫に努める。 各教員が研修会に参加したり十分な教材研究を行い、質の高い授業を展開する。
きめ細かい進路指導を実施する。 国公立・難関私立大学への多数の合格者を出せるよう努力する。	各種講演会や個別面談・LHR等とおして生徒の適性に応じたきめ細かな進路指導を行う。 模擬試験や定期試験の結果分析をし、日々の学習活動やゼミ活動に反映し学力の増進を図る。
生徒が落ち着いて学習でき、安心して学校生活を送れるような環境を整える努力をする。	中途退学や転学の防止を目指して努力する。 自転車事故等をなくすため通学路での交通安全指導を行い、生徒に交通ルールの遵守と公共の場でのマナーを身につけさせる。 いじめの早期発見・未然防止に努め、必要に応じ関係機関とも連携し対応の取り組む。
募集広報活動を充実させる。	本学の教育理念に共鳴する入学者を確保するために、組織的・計画的に広報活動をする。
特別活動の活性化。	<ul style="list-style-type: none"> ・学業に励むだけでなく、部活動など課外活動に多くの生徒が参加し、充実した高校生活を送れるよう支援する。 ・清掃など奉仕活動を通して公共心を養うと共に、環境問題を考えるきっかけを与える。 ・生徒会活動や委員会活動を生徒が自主的に運営できるように働きかける。